



子どもを守るパトロール

今こそ団結！地域で守る安全な暮らし

住民同士で団結し、
犯罪を追い出しましょう！

**住民同士で団結し、
犯罪を追い出しましょう！**



犯罪者が嫌うのは、住民同士の連帯感です。

多くの犯罪者は犯行の前に町の雰囲気を見ます。例えば、ゴミ出しのルールは守られているか？など、地域環境を下見するのです。

中でも、特に気にするのは「住民同士の近所付き合い」で「他人の事には無関心」こんな地域がお目当てです。犯罪者は「どこかで誰かが見ている」という視線をおそわれています。



**住民同士で団結し、
犯罪を追い出しましょう！**

犯罪者は「声かけ」が怖い!?

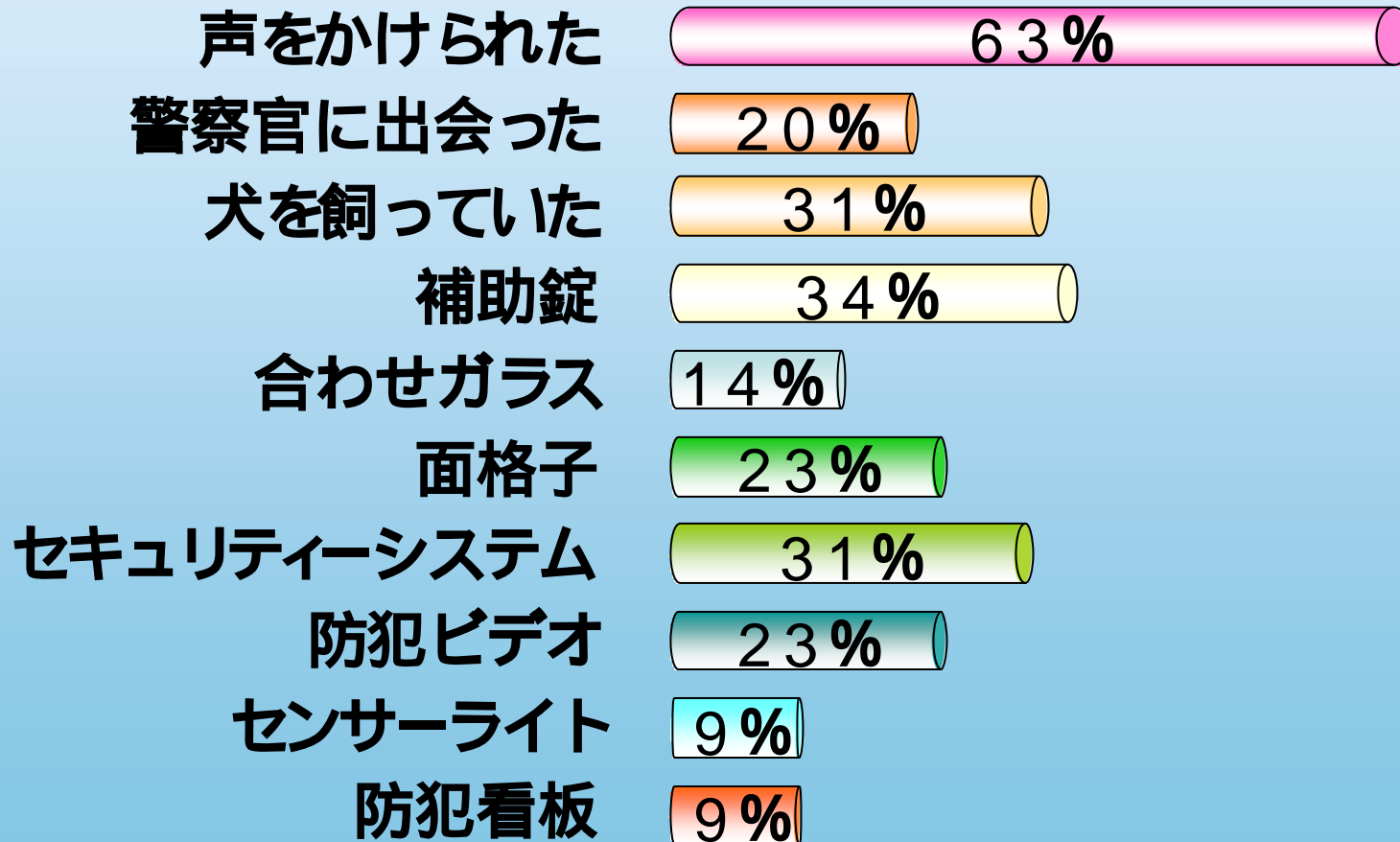
犯罪者が犯行をあきらめた理由で
もっとも多いのは
「近所の住民に声をかけられたから」
「ジロジロと見られたから」
というものです。
日頃からの近所付き合いが重要です



住民同士で団結し、犯罪を追い出しましょう！

空き巣ねらい「被疑者」に対するインタビュー

犯行をあきらめた理由




調査結果（（財）都市防犯研究センター資料）複数回答

住民同士で団結し、犯罪を追い出しましょう！

**地域を守ることができるのは
住民の連帯力です**

**「自分たちのまちは自分たちで守る」
この気持ちを、多くの住民が持てば、
自然に地域の連帯が生まれ防犯の輪は
広がります。**



基本は？

気長に



！ 短期間では、パトロールの効果は実感できないものです。

気長に続ければ、やがて気がつかないうちに防犯の輪が広がり、犯罪の起きにくい環境が醸成され、犯罪の発生が減少します。

基本は？

気楽に



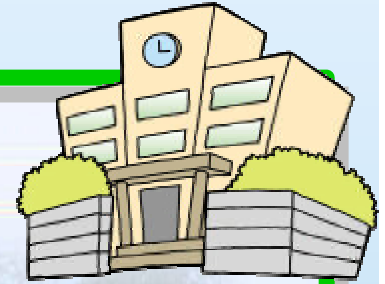
！ 気負わず、肩肘を張らず、日常生活の一部として気軽にやりましょう。



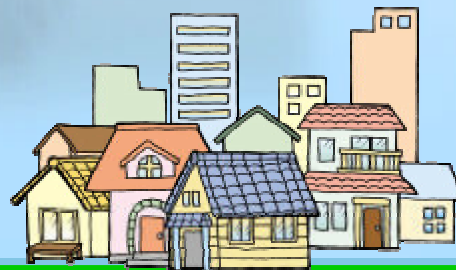
基本は？



危険なく！



夜間のパトロール時には、反射テープや懐中電灯などを活用し、交通事故には十分注意してください。



パトロール中に、不審者を発見したら、警察へ通報してください。

不審な車を発見したらナンバーや特徴をチェックして、その車が逃げても追跡などせずに、警察へ通報してください。

事件を目撃したら、直ちに110番通報してください。

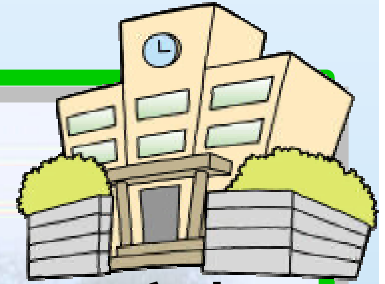
基本は？



夜間のパトロール時には、反射テープや懐中電灯などを活用し、交通事故には十分注意してください。



危険なく！



パトロール中に、不審者を発見したら、警察へ通報してください。

不審な車を発見したらナンバーや特徴をチェックして、その車が逃げても追跡などせず、警察へ通報してください。

事件を目撃したら、直ちに110番通報してください。

重要

なによりも継続！

重要

防犯パトロールの着眼点

パトロールを通じて、地域の環境をもう一度見直してください。

事件や事故が発生する危険性が高い場所は、地域ぐるみで働きかけをして改善していきましょう。
犯罪の起きにくい環境が何より必要です

防犯灯の必要な場所はないか？

暗い道路は、痴漢などが出没するおそれがあります。

防犯灯の必要な場所がないか確認しましょう。

また、各戸で門灯を点灯するだけでも明るくなります。



防犯パトロールの着眼点

水難事故発生のおそれはないか？

河川、用水、湖沼、水難事故が発生するおそれのある場所を確認し、改善を働きかけましょう。



防犯パトロールの着眼点

通学路に異常はないか？

不審人物や不審車両がないかなど、子どもの安全を確保するために、登下校時間は重点的なパトロールが必要です。



防犯パトロールの着眼点

廃屋や空き家などに異常はないか？

廃屋や空き家などは、犯罪の温床となりやすい場所です。

また、放火されたり、不良少年のたまり場となるおそれもあります。

管理者などへ改善の働きかけをしましょう。

防犯パトロールの着眼点

公園などの遊び場に異常はないか？

放課後、子どもが安心して遊べるよう、警戒が必要です。

夕暮れ時に子どもが遊んでいたら、帰宅を促しましょう。

また、公園の見通しを良くして明るくすれば、防犯効果があります。



防犯パトロールの着眼点

不良少年のたまり場はないか？

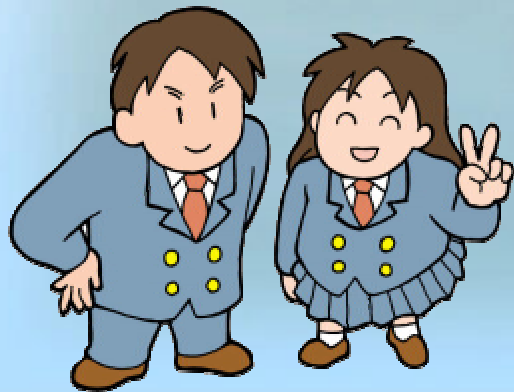
公園や店先など、不良少年のたまり場になっているところがあると、そこから非行が広がります。



防犯パトロールの着眼点

自主防犯支援事業

自主防犯活動に対する活動経費の一部補助をしています。
詳しくは、警察署や地区防犯協会に
問い合わせてください。



防犯パトロールの着眼点

こども連絡所

「こども連絡所」は、子どもが不審者から声をかけられるなどして駆け込んできた際、子どもを保護し、警察に連絡します。

地域にある「こども連絡所」を確認し、子どもに教えてください。



防犯パトロールの重要ポイント

声かけの実施を！

巡回中にあいさつを交わせば、活動のPRになります。

見慣れない人がいたら「どこかお探しですか？」などと声をかけてみましょう。

犯罪者はこれをもっとも嫌います。

子どもや一人歩きの女性にも声をかけましょう。



防犯パトロールの重要ポイント

犯罪の機会を与えない！

犯罪者をつかまえるのではなく、
犯罪の機会を与えないことが目的で
す。



数人で地域内を見回
れば、「スキのない町
だ」とアピールできま
す。

防犯パトロールの重要ポイント

目立つ服装！

目立つ服装で行ってください。
例えば、蛍光色のジャンパーや帽子などを着用し、夜間は懐中電灯を持って巡回すれば、遠くからでも存在をア



ピールできます。
万が一に備えて、防犯ブザーやホイッスルなども携行しましょう。

防犯パトロールの重要ポイント

犯罪情報を活用！

交番、駐在所、警察署が発信する
犯罪の発生状況や、危険な箇所など
の情報をパトロールの参考にしまし
よう。



防犯パトロールの重要ポイント

グループ活動！

チームを組み、分かれて巡回しましょう。



もしもの時のために、チームリーダーや、連絡係などを決めておきましょう。

自分たちの町は自分たちでまもる！

一軒一灯運動の推進

人目を避け自分の存在を消すかのように行動する犯罪者は、死角を好みます。

防犯照明の設備は、犯罪者を遠ざけることに大きな効果を発揮します。

街灯が少ない町では、住居侵入などの被害が多発しています。

門灯を一晩中つけていても月間の電気代は約200円程度です。

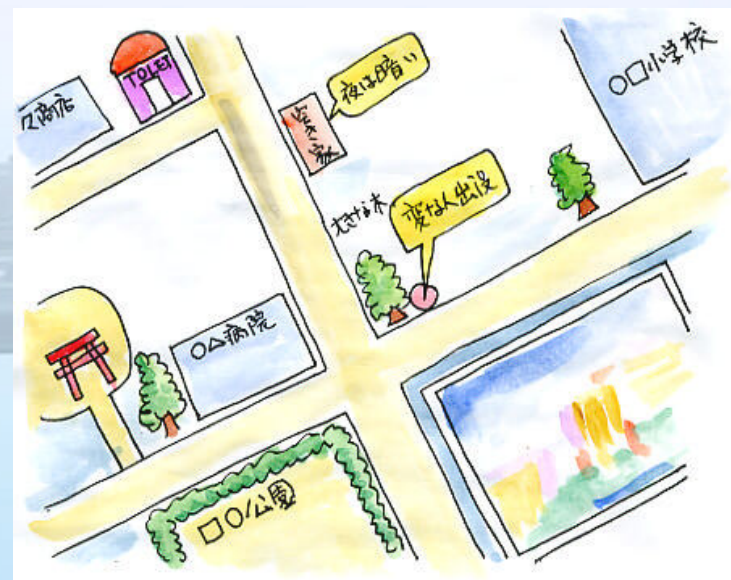
自分たちの町は自分たちでまもる！

「地域安全マップ」で防犯意識の向上を！

事件や事故が起きたり、起きやすいと不安に感じる場所を地図にまとめてみましょう。

そのために危険な場所や不安な場所を調べ、その情報を交換しあい、さらに自分たちの目で確認すれば、パトロールの重点場所も分かってきます。

できた地図を地区の会合などで発表すれば、地区全員の防犯意識が高まります。



自分たちの町は自分たちでまもる！

パトロール中に負傷した場合は？

「ボランティア保険」をご存じですか？

これは、ボランティア活動中の様々な事故による傷害や、賠償責任などについて補償するもので、現在活動中のボランティア団体の多くが加入しています。

保険会社によって契約条件や補償内容が異なりますので、各保険会社や防犯協会、社会福祉協議会などへ問い合わせてみましょう。

自分たちの町は自分たちでまもる！

パトロール車

パトロール車
に青色回転灯を
装着できます。



装着には手続きが必要です。詳しくは最寄りの警察署まで。